

折に触れ 四字熟語

NO. 313 『不同不二』 ふどう ふじ

< 意味 > ただ一つだけで、二つとないこと。絶対無二であること。

用 例 : またこの不同不二の乾坤けんこんを建立し得るの点において、我利私欲の羈絆きはんを掃討そうとうするの点において、-----千金の子よりも、万乗の君よりも、あらゆる俗界ちやうじの寵児ちやうじよりも幸福である。

<夏目漱石・草枕>

語 釈 : 「不同」は同じでないさま。「不二」は世に二つとないこと。唯一・無二・無双に同じ。

一 言 : 今年に限らずですが、こここのところのスポーツ界のビッグニュースは何ととっても大谷翔平の活躍でしょう。まさに世界中の野球界で二人といない存在です。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」